

授業科目名	分野別基礎知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ / PA/照明 / イベント制作 / ローディー / レコーディング & MA / PA&レコーディング				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験:17年 ライブハウスのPAを務めつつ、ブライダル現場・式典PA・レディオクレイジーのステージ・FREEDOM名古屋のモニターPAなど 様々なイベントを担当。また、レコーディングスタジオでの業務をこなす。 ここ数年は現地楽器・舞台監督も担当し、マルチに活動している。				
<b>授業概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサート・イベント現場で使用される用語の理解</li> <li>・劇場設備の名称の理解</li> <li>・コンサート・ライブに関わる仕事、またその作業内容の理解</li> </ul>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界用語の習得</li> <li>・現場に出た時に他セクションの作業内容を把握し、円滑に進行することができる</li> <li>・イベント・コンサート用語・名称を理解し、様々なイベント現場で柔軟に対応できるよう養う。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	代表的なライブハウス・ホール/演目・イベント・ジャンルの理解
【前期】 5～8回目	業界用語・舞台用語の理解 舞台上での基本用語/尺貫法/作業・行動・動き・進行での用語
【前期】 9～12回目	参考テキスト解説 タイムテーブル/進行表/舞台図(平面・立面・断面)/会場レイアウト/転換図/照明図面/PA回線表等
【前期】 13～16回目	参考テキスト解説 セット図/セットリスト/スタッフ構成表/申請・概要書/出庫表/CUEシート等 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	劇場設備に関する用語 ステージ形式/劇場設備/舞台機構・吊物機構/舞台備品/大道具等
【後期】 24～27回目	公演の運営・制作に関わる人達 イベント制作者・6W2Hについて/演出家・舞台監督について/技術系スタッフ(PA・照明)
【後期】 28～31回目	公演の運営・制作に関わる人達 テクニカルスタッフについて(電飾・映像・特殊効果・電源・ローディー等) 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	学期の略号について(バンド・オーケストラで使用するパートの略号) 総復習
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	コンサートで働く為に必要な用語や知識を蓄えます。 業界で働く前にこの授業で現場に良く出てくる言葉などを解説/紹介をしていきます。 一緒に楽しく勉強していきましょう
使用教科書	使用テキストをこちらで用意し、毎回配布し解説

授業科目名	分野別基礎実技 I		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ / PA/照明 / イベント制作 / ローディー / レコーディング & MA / PA&レコーディング				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験:17年 ライブハウスのPAを務めつつ、ブライダル現場・式典PA・レディオクレイジーのステージ・FREEDOM名古屋のモニターPAなど様々なイベントを担当。また、レコーディングスタジオでの業務をこなす。 ここ数年は現地楽器・舞台監督も担当し、マルチに活動している。				
<b>授業概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブやレコーディングで使用される各楽器のことについて理解を深める。</li> <li>・前期はポピュラーミュージックでよく使われる、ドラム・ベース・ギターについての知識を習得する。</li> </ul>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の扱い方やセッティング方法を学ぶ</li> <li>・簡易なPAセットの仕込み・機材の操作方法を習得する</li> <li>・ライブハウスやPA現場でのステージアシスタントができるようになる</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ドラムについて、各パーツの名称や役割/構造を理解し、チューニング方法を学ぶ
【前期】 9～16回目	ギターやベースの構造を知り、各パーツの役割や弦の張り方などの理解
【前期】 17～24回目	ベースアンプの各部の使い方や接続方法の理解
【前期】 25～32回目	ギターアンプの種類や特徴、使い方の理解 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	エレキギターのエフェクターとアコースティックギターのマイキングについて
【後期】 47～54回目	アコースティックピアノのマイキングと、キーボード/シンセサイザーなどの鍵盤楽器の種類や使い方
【後期】 55～62回目	パーカッション/金管楽器/木管楽器のマイキングや仕組みについて 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	ヴァイオリンやその他ストリングス楽器など、オーケストラについて
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	音楽関連の仕事に就くと、日常的に楽器の話が出てきます。また、楽器に触れる機会も非常に多くなります。そのため、楽器に関する基礎的な知識を身につけておくことは、とても大切になってきます。基礎的な楽器の知識を身につけ、仕事や自身の活動に反映できるようにしてください。
使用教科書	使用テキストをこちらで用意し、最初の授業でまとめて配布

授業科目名	PA実習 I		授業形態 / 必選		実習 選択(必)	
			年次		1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ PA / PA&レコーディング					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	実務経験27年 株式会社TOP GEAR代表取締役。 関西を中心にライブハウス等での経験を活かし、Anthony Jackson、Victor Wooten、長瀬剛等のツアーに参加。 数々の夏フェスやRADIO CRAZY等にもスタッフ参加。					
授業概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PAの基本的技術習得</li> <li>・各機材の役割・作業手順を把握</li> <li>・回線表の図面の読み方～プランニング</li> </ul>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・回線表を元にステージ・卓の仕込みを完成させる</li> <li>・作業手順を確実に覚え、ミスのない仕込みができる</li> </ul>						

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	学内ホールの機材説明とケーブル(8の字巻き)、スタンドの立て方・構造の理解、マルチBOXの説明
【前期】 9～16回目	モニター説明(仕込み方)、メイン卓(HAの取り方、Pre/Post、アウト/インプットチェックの方法)の理解
【前期】 17～24回目	AUX.insertの追加・説明、リバーブ、ディレイの接続方法の理解
【前期】 25～32回目	バンドセット仕込み、GEQのつなぎ方、チューニングの方法の習得 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	MATRIX・GROUPの説明、レベルとり、チェックの方法の習得
【後期】 47～54回目	モニター卓の説明、アウトチェック(T/B)、マイキングの説明
【後期】 55～62回目	メイン・モニターのチューニング、ドラムのマイキング～音出し 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	バンドセットの転換(回線チェックの方法・モニタープラン)
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期/後期の筆記テスト</li> <li>・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)</li> </ul>
学生へのメッセージ	PAの基本的な技術を1年間かけて学んでいきます。始めて学ぶことなので難しく感じることも多いと思います。ただ、現場で必要なことばかりですので大事なことはメモをとるなどしてしっかり覚えていってください。わからないことはなんでも聞いてくださいね。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

授業科目名	照明実習 I		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ 照明				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験:42年 (株)東京舞台照明、(株)ライティングスタッフプロモーションを経て、(有)EAST WESTを設立。 ジャニーズや中村雅俊などの数々のアーティストのコンサート照明を担当。				
<b>授業概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明機材の扱い方、用語を覚える</li> <li>・照明仕込み図面を正確に読み取り、仕込める</li> <li>・回路の取り方、ケーブルの引き直し方を覚える。</li> <li>・ピンスポットの操作方法を覚える。</li> </ul>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩感の習得。</li> <li>・本番を想定し、仕込みから撤収作業までの一連の流れを理解。</li> <li>・図面を元に的確に仕込む。ピンスポットの扱い方を学び、アルバイトで通用する技術を習得する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	色番号・サイズについての理解、カラーシートの切り方・スポットの種類、照明ハンガー・ベース付け、トラス昇降装置の注意点の理解
【前期】 9～16回目	ステージ上トラスの仕込み方を学び SUS仕込みの習得
【前期】 17～24回目	F.I/F.O/C.I/C.Oを実際の動きに合わせたピンスポットの練習 調光卓の用語の説明、Patchの方法
【前期】 25～32回目	コンサートの仕込み～本番(ポジションチェンジ) ステージ・ピンスポット・調光卓に分かれての実習 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	仕込み図を見て、仕込み～シュート～曲に合わせてのオペレート
【後期】 47～54回目	仮シュートの理解、TOPのシュートの理解、調光卓の理解
【後期】 55～62回目	Qシートのフェーダー操作、ピンスポット:色の準備～オペレート / SS:色替え、ネタ替え 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	表現色彩(青・紫・白・黒・緑・黄色)など、日本人の色彩感情のイメージ習得
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	照明の基本的な機材の扱い方から仕込み、シュートなど一連の流れを経験します。 実習になりますので、実習向きの服装で来てください。 反復練習で技術をしっかり身に付けていきましょう。 説明されたことは随時メモにとってくださいね。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

授業科目名	企画制作実習 I		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 II 部 ■ イベント制作				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験12年 ライブキッズが楽しめることに特化したDJ活動・イベント制作を行っている。 ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNTDOWN JAPANなどの大型フェスにもDJとして多数出演。 大学生の夏フェス「SOUND SHOCK」を立ち上げ、イベント制作バンドツアー制作、SNSの管理人など 「イベント制作」と「WEB」に特化した活動を行っている。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にイベントを制作することで、ライブハウス規模のイベント制作に必要なことを学ぶ。</li> <li>・ビジネスメールの作成・アーティストやライブハウスとのやりとり、ワード・エクセル・パワーポイントなどを使った資料作成を行う。</li> </ul>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々でアイデアを出し、0から1にイベントを創造することができる能力を身に付ける。</li> <li>・お金を扱うことで、音楽をビジネスとして扱う難しさと、収入・支出の管理能力を身に付ける。</li> <li>・自身の特性を知り、今後の職業選択における基準を明確にする。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	イベント制作にあたっての基礎を学び、受講者立案の無料イベントに向けた準備の説明
【前期】 9～16回目	受講者立案の無料イベントの準備と、担当振り分けとタスクのブラッシュアップ
【前期】 17～24回目	無料自主企画イベント実施に向けた準備
【前期】 25～32回目	受講者立案の無料イベントの実施と終了報告書の作成方法の習得 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	ライブイベントに向けた日程・企画内容の確認 / メールアドレス立ち上げ / 会場下見について確認すべきことのディスカッション
【後期】 47～54回目	ライブイベントに向けた企画内容の見直し / 必要資料の作成
【後期】 55～62回目	出演者の ブッキング / 広報物作成・広報活動 / 必要資料の作成 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	ライブイベントに向けた、他コース合同シュミレーション / ブッキングFIX / 必要資料の作成 / 広報物作成・広報活動
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	まずは基本となるPCスキルをしっかりと身につけてもらいつつ、たくさんの「知らないこと」に飛び込んでいってください。分からないことだらけのはずです。分からないまま、ではなく、たくさん質問して分かることを増やしていきなり、先生・先輩に意見を聞いて「こういう方法があるのか」のレポトリーを増やしていってください。必ずみなさんの血や骨や肉になります。楽しんでください！
使用教科書	PCを使用。過去資料を印刷したものを参考資料として配布。

授業科目名	ローディー実習 I		授業形態 / 必選		実習 選択(必)	
			年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 II 部■ ローディー					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験18年 大阪芸大音楽学科卒業後上京し当時全国ツアーを行うPUNK ROCK BANDのスタッフとして働く。 有限会社BACKLINE 江守徹氏に師事。soweluツアーに同行 ローディー業務の基礎を学ぶ。 girugameshを始めとする数々のV系バンドのローディーを担当。数々のフェスにスタッフとして参加(FUJI ROCK FESTIVAL、SUMMER SONIC、LOUD PARK、ROCK IN JAPAN FESTIVAL、COUNTDOWN JAPAN等)ギターアンプメーカー PeaveyのA&Rとしても活躍中。					
授業概要						
・楽器や機材について基本的な使い方や考え方を理解する。						
到達目標						
・将来ローディーとして音楽業界で活躍する上での基本的な知識や、機材の使い方を理解する。 ・楽器の基本的な扱い方を理解し、現場などで積極的に動き、活躍出来るようになる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ローディーの作業内容や役割について理解 / トータルドラムセットのセッティング
【前期】 9～16回目	電気についての理解 / ギターとギターアンプについて理解する
【前期】 17～24回目	ベース、ベースアンプについて理解 / DIの使い方やPAとの関わりの理解
【前期】 25～32回目	アコギについて理解 / キーボードについて理解を深める。機種ごとの特徴や結線方法の理解 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	機材表の重要性を理解する / 現地楽器役割の理解
【後期】 47～54回目	電気、電源の重要性の理解を深める / ワイヤレスシステムの理解
【後期】 55～62回目	コンパクトエフェクターとギターアンプの応用など、使い方の習得 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	トータルの楽器セッティングを習得 / バンドセッティング全般の習得
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	楽器や機材について基本的な使い方や考え方を理解していきます！ まずは基本から！たくさん学ぶことはありますが、焦らずゆっくり学びましょう。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

授業科目名	DAW・DTM実習 I		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ レコーディング&MA / PA&レコーディング				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験23年 大阪芸術大学を卒業後、大阪のレコーディング・ライブハウス・リハーサル複合のスタジオ、フリービーブルにてエンジニアとして勤務。その後、大阪を中心にライブハウス・キングコブラなどでPAや、フリーでレコーディングの音響エンジニアをしている。				
授業概要					
・ドラムの聴き取り練習を繰り返すことによりリズムの概念を習得し、実習を繰り返すことでDTMの仕組みを学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ProToolsを使用してMIDI入力することにより、PC操作に慣れ親しみ、音符の持つ意味と実際に鳴る音色、楽曲のイメージを養う。</li> <li>・5パート以上のバンドスコアを自力でMIDI入力、オーディオファイルにまで書き出し音源として仕上げる力を身につけさせる。</li> <li>・音源制作を行う手順を一から理解できるようにする。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	Macのシステムや概念の理解
【前期】 9～16回目	イヤートレーニング&Pro Tools ファイルの作成 / リズム譜の聴き取り&書き取り
【前期】 17～24回目	楽曲の打ち込みを通したMIDIの理解
【前期】 25～32回目	既存曲の打ち込みを通してドラム/ベース/ギターなどの楽器の音色を理解する 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	イヤートレーニング / MIDIを使ったドラムのフレーズ研究「8beat1」「8beat2」「8beat3」「8beat4」
【後期】 47～54回目	イヤートレーニング / MIDIを使ったベースのフレーズ研究「ブルース・ロックンロール」「フレットレスベース」
【後期】 55～62回目	イヤートレーニング / MIDIを使ったベースのキーボードフレーズ研究とリズムの種類を学ぶ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	イヤートレーニング / MIDIを使ったビートの違いを習得する
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	ProToolsという業界標準のDAWソフトを使いこなし楽曲制作を一から行う手順の基礎から学びましょう。
使用教科書	使用プリントを まとめた冊子を 1回目の授業で配布

授業科目名	マネージメント実習 I		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験21年 イギリス・リヴァプール総合芸術大学LIPAを卒業後、大阪レコードショップ/インディーズレーベルにてバイヤー及び海外バンドとの契約交渉担当者として勤務。その後、インディーズレーベル"RIMEOUT RECORDINGS"を立ち上げ、CDの制作販売やライブ/DJイベントの企画などを行っている。				
<b>授業概要</b>					
・キャッチコピー、ディスクレビュー、プロフィール、リリースインフォメーションなどの文章・書類作成を通じて人に「買う」「見る」「聞く」というアクションを起こさせるにはどのような伝え方をすれば良いのかを学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
・エンターテインメント業界のマネジメント業務で使用する書類をひとりで作れるようになる。 ・あらゆるジャンルの音楽や様々なタイプのアーティストを売り込む為に必要な表現力、ポキャブラリーの向上。 ・マネジメント業務や資料作成の際に必要な論理的思考を培う。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	レコード会社とプロダクション、マスメディアの業務を知る
【前期】 9～16回目	情報収集能力を高める / スケジューリングとは何か
【前期】 17～24回目	アーティストや音源を売り込む為に必要な表現力、ポキャブラリーの向上
【前期】 25～32回目	アーティストや商品のセールスポイントを踏まえて、それを効果的に売る為のキャッチコピーの作り方を学ぶ プレゼンを授業内で実際に行い、プレゼン力の向上を図る 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	音源の批評文「ディスクレビュー」の作成を通じて、よりの確でイメージのしやすい文章を書く力を養う
【後期】 47～54回目	プロの業界人が実際に作成したアーティストを売り込む為の「プロフィール」を参考にしながら、効果的で、分かりやすく、印象に残りやすいプロフィールはどういったものかを、自分なりの結論を出す。
【後期】 55～62回目	レコード会社やマネジメントがアーティストの音源リリースの際に作成する「リリース・インフォメーション」を可能な限り多く閲覧し、その特質、構成、作る上でのポイントなどを理解して作成する 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	架空のコンピレーションCDの企画を立ち上げ、「リリース・インフォメーション」の作成する 購買客の購買意欲をそその企画案を購買客目線で企画する事を意識し、購買客に効果的にその音源の長所・特徴を文章で伝え、音源購入へと誘う方法を学ぶ
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	エンターテインメント業界におけるマネジメント業務を学んでいきます 様々な文章・書類作成を通じて人に「買う」「見る」「聞く」というアクションを起こさせるためにはどうすればよいのかを勉強していきましょう！
使用教科書	・参考用資料、テキストを授業にて配布。/ 映像、参考用資料を授業にて閲覧。

授業科目名	サウンドアナライズ実習		授業形態 / 必選	演習 選択(必)	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ レコーディング&MA / PA&レコーディング				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経歴:12年 作曲・編曲からレコーディングまでマルチにこなすサウンドクリエイター。 作・編曲家としてはユニバーサルスタジオジャパンのショー音楽制作など、日本各地のテーマパークやイベントの楽曲制作に携わる。 レコーディングエンジニアとしても、テレビCMをはじめとして、多くの楽曲の録音やミックスを行っている。				
授業概要					
・レコーディング実習が実践中心の授業であるのに対して、本授業では、スタジオ内の機材ひとつひとつの名称や使用方法等、基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
・ルーティングを理解することで、信号が来ない等のトラブルの際、原因を切り分けて冷静に対処できるようになる。 ・各機材の音の違いや特徴を知り、用途に応じて使い分けられるようになる。 ・アナログミキサーの使い方や様々なルーティングを学ぶことで応用力をつけ、録音時・ミックス時における選択肢が増える。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	スタジオ機材の理解。コントロールルームとブースの役割を知り、スタジオの中核となる機材の名称と役割がわかる。
【前期】 5～8回目	ダイナミックマイクとコンデンサーマイクの違いを理解し、マイクの指向性とその使い分けを学ぶ
【前期】 9～12回目	RECブースのマイクからミキサーまでの信号の流れを理解し、ヘッドアンプに信号が来ない場合のトラブル対策方法を学ぶ
【前期】 13～16回目	アナログミキサーでのミックス方法を把握する。 / Pro Toolsの信号をAWS900に立ち上げ、バスの仕組みを理解し、AWS900の各chの音をミックスバスで流す方法を習得する 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	AUXセンドの信号の流れと働きを理解し、ミキサーのAUXセンドとリバーブを接続できる
【後期】 24～27回目	アウトボードのヘッドアンプへの接続方法を理解し、各ヘッドアンプHAの使用方法を理解する
【後期】 28～31回目	インサート機能を応用したルーティングを理解し、録音時に考えられる様々なセッティングを実践できる 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	リバーブの各パラメータの意味と使い方を理解し、各パラメータの意味を学ぶ
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	テキストに沿って、レコーディング機材の使用方法について学んでいきます。 前期では、マイクによる使用方法の違いやミキサーの使い方、回線のルーティング方法をメインに学び、レコーディングの基礎知識を身につけ、後期では、ミキサーを使ったアナログミックスを行うためのルーティングを学びます。
使用教科書	使用プリントをまとめた冊子を、最初の授業で配布

授業科目名	イクイップメント実習 I		授業形態 / 必選	演習 選択(必)	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 II 部■ 照明				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験:39年 舞台照明プラン・照明設備デザインプラン・舞台監督・技術監督・企画制作運営・マネージメントなど。 有限会社BACKSを経て、2015年合同会社ストレンジブルー設立 執行役員。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門用語や機材名を実物を交え覚えていく</li> <li>・照明機器の取り付け方や操作方法を学んでいく</li> </ul>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場に必要な用語・機器の取り扱い方・安全に対する意識の向上し、機材のメンテナンス技術を習得する</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	舞台用語・舞台機構を学ぶ / 用語・劇場設備の説明
【前期】 5～8回目	照明の職種・働く場所などの説明 / 安全に関する知識の理解
【前期】 9～12回目	トラスのケーブルのはやし方など、照明の仕込みについて学ぶ
【前期】 13～16回目	調光卓のセッティング / スポットの仕込み 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	舞台平面図・仕込み図の理解 / 電源ユニットの仕込みを学ぶ
【後期】 24～27回目	スポットの吊り込みとシュート作業を習得する
【後期】 28～31回目	照明仕込みと照明卓のセットアップからシュートまでの流れを学ぶ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	照明機材のメンテナンス方法の習得
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期/後期の筆記テスト</li> <li>・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)</li> </ul>
学生へのメッセージ	1クラスずつ行いますので技術・知識を深めることができます。 舞台の仕事・照明の仕事が楽しく今より興味深く、夢を持って個々が魅力のある人物になるように照明知識を学んでもらいます。
使用教科書	なし。必要に応じて図面を配布

授業科目名	デザインワーク実習 I		授業形態 / 必選	演習 選択(必)	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ / イベント制作				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経歴:34年 主に電器・通信関係を中心とした販売促進用ツール(ポスター、店頭展示パネル、POP、チラシ、パンフレット、リーフレット)、パッケージ・広告等、書籍のレイアウト、装丁、またCDジャケットやポスター、フライヤー、グッズ、広告等の音楽関係の制作物を数多く手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期は、Adobe Illustrator (以下、イラストレーターと称する)の基本的な操作方法の修得を目標に進行する。</li> <li>・後期は、イラストレーターに加えフォトタッチアプリケーション: Adobe Photoshop(以下、フォトショップと称する)の操作方法も交えて、実際の制作物を例にした課題に沿って実習。</li> </ul>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストレーター、フォトショップを活用し、指示通りの作業を正確かつ合理的に行う事ができる。</li> <li>・イラストレーター、フォトショップを使用した単純な印刷用データの作成ができる。</li> <li>・実例に則した課題を作成することにより、デザインによって『何かを伝えること』が効果的にできるようになる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	パソコンのシステムを学び、保存/サーバー保管の概念を学ぶ。 TシャツやCDジャケット、フライヤー等の実物とその印刷用データを見てアプリケーションの概略を把握する。
【前期】 5～8回目	起動と作業エリア/起動方法とインターフェースを確認 アートワークの表示とプリント/表示方法、モード、プリントについて確認/環境設定について確認
【前期】 9～12回目	イラストレーター: Chapter1～5 を基に、基本操作からオブジェクトの編集を学ぶ
【前期】 13～16回目	オリジナルのキャラクターをイラストレーターで制作する/文字の編集機能を使ってレイアウト、デザイン方法を学ぶ 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	ビットマップとベクター、RGBとCMYKの違いを理解して編集ができる。・ファイル形式の変更ができる。 イラストレーターの基本的操作ができ、指示通りの形式データ作成ができる。
【後期】 24～27回目	イラストレーターの基本的操作ができ、指示通りの形式データ作成ができる。正しく効果的に情報が伝達できるようデザインできる。 自分が伝えたい事や色・形を表現でき、伝えなかったことを「製作意図」というかたちで文章で表現できる。
【後期】 28～31回目	イラストレーターの基本的操作ができ、指示通りの形式データ作成ができる。 文字の編集ができる。初歩のDTP/印刷用原稿が指定どおり制作できる。 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	CDジャケット制作を通して、イラストレーターの基本的操作ができ、指示通りの形式データ作成ができる。
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	皆さんが町中で見えるフライヤー、ポスター、などの広告物などはイラストレーターというソフトを扱い、デザインしています。 デザインだけにとどまらず幅広く使われているソフトなので自分だけのデザインを作れるようマスターしましょう。
使用教科書	Illustrator /Photoshopソフト / 授業内容のオリジナル説明プリント

授業科目名	CAD実習 I		授業形態 / 必選	演習 選択(必)	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ 照明 / イベント制作				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	大学にて研究員として学生に対するICT、CADの指導をはじめ、その後特許事務所のパテントエンジニアを経て現在のICT、CAD教育業務に携わる。その他、企業、教育施設において情報セキュリティの指導にも携わる。 実務経歴15年。				
授業概要					
CADとは設計・製図に応用した図形処理システムです。このソフトを用いた図面製作の方法を学びます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・CADのソフトの使用方法を理解する</li> <li>・製図の基礎知識を身に付け、簡単な舞台図面の作成などが可能になる</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	CADの概要・製図の基礎知識・投影法・三面図について学ぶ
【前期】 5～8回目	等角図・投影法・投影図・フォルダ作成・線(水平・垂直・傾き・寸法)、消去(右クリック・範囲・除外)、練習作図について学ぶ
【前期】 9～12回目	円弧・中心線・複線・多角形・練習作図について学ぶ
【前期】 13～16回目	下書き作図(複線・色・消去・部分消去)・属変・伸縮・面取り・コマンド練習3・文字記入・表題欄作成・移動について学ぶ 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	画属(レイヤ)・属変範囲・A3・A4図枠作成(レイヤー・表題)について学ぶ
【後期】 24～27回目	寸法記入(水平・垂直・平行・角度・直列・並列)について学ぶ
【後期】 28～31回目	寸法記入(半径・直径・引出線)・移動・複写(平行・回転・尺度変更)について学ぶ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	鏡像・練習作図・部分削除・面取り・フィレットについて学ぶ
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	多種多様なCADシステムのソフトウェアがありますが、ここで学ぶ内容は簡易的な入門編です。 PCが苦手な方もいるかもしれませんが、丁寧に教えていきます。 資格取得も目指していきましょうのでしっかり扱い方を覚えて頑張ってくださいね。
使用教科書	CADテキストを用いて授業を実施します

授業科目名	スタッフワーク実習		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ PA / 照明 / ローディー / イベント制作				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	実務経験:27年 18歳から15年間京都「WHOOPEE”S」にて企画制作を担当。並行し、「京都大作戦」「牛若ノ舞台」ブッキング会議から参加し、当日も舞台監督を担当。様々な夏フェスなどを企画しつつ京都のライブハウスをオープン。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習ホール(GARDEN,FREE)と2つのホールを使用し、クラスを分けて合同実習を行う</li> <li>・ホールでの機材運搬やイベント実戦経験を積む</li> </ul>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同での授業で他セクションとのコミュニケーション力を養う</li> <li>・授業内でのイベント対応で経験値を積む</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	PA/照明/ローディの基礎作業をチームごとにローテーションして反復し覚える
【前期】 9～16回目	ヴォーカルコンテスト本番対応に向けたシュミレーションの実施
【前期】 17～24回目	ヴォーカルコンテストの反省と次回に向けたフィードバック 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 25～32回目	2トラックの積み込み練習/バンドセットの仕込みを学ぶ
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	ヴォーカルコンテスト本番対応に向けたシュミレーションの実施/反省と次回に向けたフィードバック
【後期】 47～54回目	プライダル実習対応/バンドセットの復習
【後期】 55～62回目	外部ホール見学と、ホールごとの広さの違いや運営方法の差を学ぶ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	ライブハウスで行うイベント実習に向けたシュミレーションの実施
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	イベント対応、スタッフとしての心構えなどこれから必要な基礎をこの授業で行っていきます。 他コースとコミュニケーションを図りながらイベント対応など実践を積んでいきます。 一緒にがんばって行きましょう。
使用教科書	なし。必要に応じてプリント配布

授業科目名	アーティストデベロップメント I		授業形態 / 必選		実習 選択(必)	
			年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 II 部 ■ アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	実務経験21年 イギリス・リヴァプール総合芸術大学LIPAを卒業後、大阪レコードショップ/インディーズレーベルにてバイヤー及び海外バンドとの契約交渉担当者として勤務。その後、インディーズレーベル"RIMEOUT RECORDINGS"を立ち上げ、CDの制作販売やライブ/DJイベントの企画などを行っている。					
授業概要						
音響・照明・ステージなど、他セクションの動きを理解し、イベント資料作成から、集客に繋がるプロモーションスキルを身に付け、アーティストプロモーションの一環として必要なイベントの概要を学ぶ。						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントに関わる各セクションの立ち位置・業務内容を理解する。</li> <li>・イベント制作に必要な各資料の理解・作成ができるようになる。</li> <li>・集客を意識したプロモーション方法を身に付ける。</li> <li>・各チーム内でのコミュニケーションを図り、話し合いながら物事を組み立てる能力を身に付ける。</li> </ul>						

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ライブ関連の仕事の基礎知識やイベントに関わるお金の動きを知る。ライブ企画を作る前に知るべき基礎知識を知る。
【前期】 9～16回目	架空イベント企画立案を行い、イベント立案の際に必要な事を知る。企画書を客観的目線で見る力を養う。
【前期】 17～24回目	夏期に行う軽音部との合同イベントの企画立案を行い、イベントまでに行うべき業務の理解して準備を行う。
【前期】 25～32回目	ライブイベントの出演者と会場と協力しながら円滑なイベント運営の進行のやり方を学びつつ、いかにして観客が満足するイベントを作り上げていくべきなのかを理解する。イベント実施後に反省会を行い、今後にフィードバックする。 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	後期ライブイベント企画立案～最終企画案の作成とイベントに向けた準備を行う。
【後期】 47～54回目	後期ライブイベントの出演アーティスト候補との交渉やイベントに向けた最終準備を行う。
【後期】 55～62回目	後期ライブイベントの出演アーティスト候補の出演交渉作業、および告知方法選定会議などのイベント準備を行う。 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	ライブイベントに向けた最終調整と準備を行い、企画イベントを実施する。実施後に反省会を行い、今後にフィードバックする。
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	アーティストをマネジメント、プロモーションしていくうえでLIVEイベントは必須です。イベントを行う上で必要な知識を学び、実際にイベントを制作していきます。マネジメントを行う上でイベントへの理解は必須です。共に頑張りましょう。
使用教科書	・参考用資料、テキストを授業にて配布。

授業科目名	レコーディング実習Ⅰ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ レコーディング&MA / PA&レコーディング				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験29年 大阪四ツ橋LMスタジオに籍を置き、主に関西インディーズレーベル所属アーティストのレコーディングを担当する傍ら、ライブPAも行う。				
授業概要					
<p>・録音対象(声や様々な楽器)を項目に分け、項目毎の録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、音像作品を完成させる技術を習得する。 また、チームでの共同作業や演奏者との意見交換によりコミュニケーション能力を向上させる。</p>					
到達目標					
<p>・レコーディングスタジオ内の全ての機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。 ・同じ役割であれば初見の機材でも使用出来る応用力を身に付ける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	マイク信号の流れを理解し、パッチベイのシステムを学ぶ。 マイクスタンドの立て方やProToolsの新規セッション作成など、レコーディングの準備方法を学ぶ。
【前期】 9～16回目	ProTools内のAUXセンド・リバーブのシステムを理解し、レコーディング方法を学ぶ。 CUE BOXの役割を理解し操作方法を学ぶ。
【前期】 17～24回目	ボーカルの録音現場を再現し、実際にオケに対してのボーカルレコーディングを実施する。 Pro Toolsの新規セッション作成、CD音源のPro Toolsへの取り込み、マイクセッティング、録音までの流れを習得する。
【前期】 25～32回目	ドラムセットの各パーツを理解し、ドラムセットを組むことが出来る。 ドラムセットへの複数のマイクセッティング(マルチマイキング)が出来る。 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	ベースアンプの接続とインプットモニターの使用方法を学び、ドラムとベースのレコーディングを習得する。
【後期】 47～54回目	ギターの構造やチューニング方法、アンプとの接続方法を理解する。 ギターアンプの使用方法を理解し、音色調整が出来る。
【後期】 55～62回目	キーボードの種類や音色の解説を理解する。 シンセサイザーによる音色合成を理解し、イメージした音色を作ることが出来る。 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	ボーカル録音をマスターし、ミックスダウンまでの流れを習得する。 ミックスに必要なトラックの整理などの作業を学び、ミックスまでの段取りを理解する。
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習 【年度末特別セミナー】成果発表会 総復習等
評価方法	・前期/後期の筆記テスト ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	レコーディングにおける基礎的なルーティングシステムと録音方法を学び、前期ではドラムなど複数のマイクを使ったレコーディングを学びます。他の授業と連携を取りながら、スタジオ機材の使い方と録音ソフト「ProTools」を平行して学び、レコーディングエンジニアになるための知識を学んでいきます。
使用教科書	項目毎にテキストプリントを配布。